

N O	教 科	科 目 名	単 位 数	必修・選択の別
208	保健体育	保 健	1 / 2 1～2年次まで継続履修	必修
開講年次	選択群	系 列	使 用 教 科 書 ・ 教 材	
2	なし	なし	現代高等保健体育（大修館書店） 現代高等保健体育ノート（大修館書店）	
目 標				
保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。				
知識及び技能		思考力、判断力、表現力	学びに向かう力、人間性	
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。		健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。	
単元・作品名		学 習 内 容	到 達 度 目 標	
前 期	生涯を通じる健康	<ul style="list-style-type: none"> ・ライフステージと健康 ・思春期と健康 ・性意識と性行動の選択 ・妊娠・出産と健康 ・避妊法と人工妊娠中絶 ・結婚生活と健康 ・中高年期の健康 ・働くことと健康 ・労働災害と健康 ・健康的な職業生活 	<ul style="list-style-type: none"> ・ライフステージと健康、各ライフステージで活用できる社会支援について説明できる。 ・思春期における体の変化、思春期の心の発達に関わる問題について説明できる。 ・性意識の男女差、性情報が性行動の選択に及ぼす影響について説明できる。 ・妊娠・出産の過程における健康課題、活用できる母子保健サービスについて説明できる。 ・家族計画の意義と適切な避妊法、人工妊娠中絶が心身に及ぼす影響について説明できる。 ・心身の発達と結婚生活の関係、結婚生活を健康的に送るために必要な考え方や行動について説明できる。 ・加齢ともなう心身の変化、高齢社会に必要な社会的な取り組みについて説明できる。 ・働くことの意義と健康とのかかわり、働き方や働く人の健康問題の変化について説明できる。 ・労働災害の種類と原因、労働災害の防止策について説明できる。 ・職場がおこなう健康に関する取り組み、余暇を積極的にとることの意義について説明できる。 	
	後 期	健康を支える環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・大気汚染と健康 ・水質汚濁、土壌汚染と健康 ・環境と健康にかかわる対策 ・ごみの処理と上下水道の整備 ・食品の安全性 ・食品衛生にかかわる活動 ・保健サービスとその活用 ・医療サービスとその活用 ・医薬品の制度とその活用 ・さまざまな保健活動や社会的対策 ・健康に関する環境づくりと社会参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・大気汚染の原因と健康への影響、大気にかかわる地球規模の健康問題について説明できる。 ・水質汚濁・土壌汚染の原因とその健康影響、大気・水・土壌にまたがる複合的な環境汚染の発生のしくみについて説明できる。 ・環境汚染による健康被害を防ぐ方法、産業廃棄物の処理について説明できる。 ・ごみの処理の現状やその課題、上下水道のしくみと健康にかかわる課題について説明できる。 ・食品の安全性と健康とのかかわり、食品の安全性に関する今日的課題について説明できる。 ・食品の安全性を確保するための行政や製造者の役割、個人の役割について説明できる。 ・保健行政の役割、保健サービスの活用について説明できる。 ・わが国における医療保険のしくみ、さまざまな医療機関の役割について説明できる。 ・医薬品の正しい使用法、医薬品の安全性を守る取り組みについて説明できる。 ・国際機関・民間機関などの保健活動、行政機関による社会的対策について説明できる。 ・健康の保持増進のための環境づくり、環境づくりへの主体的な参加が自他の健康づくりにつながるについて説明できる。
取得可能な検定や資格				
なし				